



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社 ダイヘン

上場取引所 東 福

コード番号 6622 URL <http://www.daihen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室経理部長 (氏名) 小澤 茂夫

TEL 06-6390-5506

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	75,361	18.8	4,071	202.9	4,426	170.9	2,907	215.3
25年3月期第3四半期	63,412	△8.4	1,343	△57.8	1,634	△50.2	922	△56.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,668百万円 (577.4%) 25年3月期第3四半期 836百万円 (△10.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	22.78	—
25年3月期第3四半期	7.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	114,623	56,299	47.3
25年3月期	109,524	52,075	45.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 54,258百万円 25年3月期 49,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	9.5	5,500	84.3	5,700	56.6	3,500	49.8	27.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	135,516,455 株	25年3月期	135,516,455 株
26年3月期3Q	7,876,760 株	25年3月期	7,845,912 株
26年3月期3Q	127,658,057 株	25年3月期3Q	128,409,508 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期のダイヘングループを取り巻く経営環境は、国内経済につきましては円高の是正や経済政策への期待から総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。また、成長率鈍化傾向が続いておりましたアジア新興国経済につきましても漸く好転の兆しが見え始めました。

このような状況の下、中期経営計画“DAIHEN Value 2014”に沿った「ダイヘンならではの製品価値」の創出・市場投入に努めましたことにより、受注高は848億4千万円となり前年同期に比べ26.5%の増加、売上高につきましても753億6千1百万円と前年同期に比べ18.8%の増加となりました。利益面におきましても、売上高の増加と「ロスカット活動」による大幅な生産性向上・コスト水準の引き下げの効果もあり、営業利益は40億7千1百万円と前年同期に比べ27億2千7百万円の増加、経常利益は44億2千6百万円と前年同期に比べ27億9千2百万円の増加、四半期純利益につきましても29億7百万円と前年同期に比べ19億8千5百万円の増加となりました。

セグメント別の状況につきましては、以下のとおりであります。

電力機器事業では、電力会社の設備投資抑制の影響はありましたが、太陽光発電用パワーコンディショナーや昇圧用変圧器をはじめとした太陽光発電関連製品の販売が大幅に拡大いたしました。その結果、電力機器事業全体の受注高は443億8千8百万円（前年同期比17.5%増）、売上高は401億9千4百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益は26億7千3百万円（前年同期比1億5千4百万円増）となりました。

溶接メカトロ事業では、国内外の自動車関連投資や中国における自動化投資の拡大を背景にアーク溶接ロボットの需要が好調に推移いたしました結果、受注高は297億6千9百万円（前年同期比28.9%増）、売上高は258億7千4百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は28億4千4百万円（前年同期比17億5千4百万円増）となりました。

半導体関連機器事業では、スマートフォン等の高機能モバイル機器の好調な需要に牽引され半導体製造装置関連の設備投資が堅調に推移いたしました結果、受注高は104億2千6百万円（前年同期比75.2%増）、売上高は90億8千7百万円（前年同期比48.1%増）となり、営業利益は5億7千万円（前年同期は営業損失5億6千5百万円）となりました。

また、その他の売上高は2億1千9百万円、営業利益は6千5百万円となり、前年同期からの大きな変動はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の資産合計は、円安に伴う海外子会社資産の円換算額の増加の他、太陽光発電用パワーコンディショナーの増産に伴う商品及び製品や仕掛品の増加もあり1,146億2千3百万円（前年度末比50億9千8百万円増）となりました。

また、負債合計につきましても、太陽光発電用パワーコンディショナーの増産に伴う支払手形及び買掛金の増加などにより583億2千4百万円（前年度末比8億7千4百万円増）となりました。

純資産合計は、四半期純利益と配当金との差し引きにより利益剰余金が増加したことに加えまして、株式相場の好転に伴うその他有価証券評価差額金の増加や円安の進展に伴う為替換算調整勘定の増加もあり562億9千9百万円（前年度末比42億2千4百万円増）となりました。なお、自己資本比率は前年度末の45.4%から1.9ポイント上昇して47.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回公表値（平成25年11月8日公表）を修正しておりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表させていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,333	8,549
受取手形及び売掛金	23,241	21,811
商品及び製品	11,198	13,092
仕掛品	5,368	6,553
原材料及び貯蔵品	9,512	9,778
繰延税金資産	1,711	1,865
その他	1,425	2,123
貸倒引当金	△72	△67
流動資産合計	59,719	63,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,583	12,392
機械装置及び運搬具(純額)	5,395	5,214
工具、器具及び備品(純額)	718	772
土地	6,450	6,492
リース資産(純額)	195	426
建設仮勘定	486	775
有形固定資産合計	25,829	26,073
無形固定資産		
のれん	244	189
ソフトウェア	3,232	2,843
リース資産	18	12
その他	223	240
無形固定資産合計	3,719	3,285
投資その他の資産		
投資有価証券	12,085	13,948
出資金	249	242
長期貸付金	18	15
長期前払費用	103	94
前払年金費用	7,084	6,527
繰延税金資産	318	306
その他	525	545
貸倒引当金	△129	△122
投資その他の資産合計	20,256	21,558
固定資産合計	49,804	50,917
資産合計	109,524	114,623

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,006	18,842
短期借入金	9,955	6,504
1年内返済予定の長期借入金	3,676	2,680
1年内償還予定の社債	181	45
リース債務	98	107
未払法人税等	705	1,180
賞与引当金	1,874	1,087
役員賞与引当金	79	48
工事損失引当金	23	—
その他	2,873	3,308
流動負債合計	36,475	33,805
固定負債		
社債	45	—
長期借入金	16,086	18,710
リース債務	130	355
繰延税金負債	2,026	2,732
退職給付引当金	1,399	1,431
役員退職慰労引当金	79	89
資産除去債務	104	104
その他	1,102	1,094
固定負債合計	20,974	24,518
負債合計	57,449	58,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,596	10,596
資本剰余金	10,031	10,031
利益剰余金	29,303	31,314
自己株式	△1,977	△1,990
株主資本合計	47,953	49,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,734	3,050
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	△17	1,254
その他の包括利益累計額合計	1,720	4,306
少数株主持分	2,401	2,041
純資産合計	52,075	56,299
負債純資産合計	109,524	114,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	63,412	75,361
売上原価	42,896	50,361
売上総利益	20,516	24,999
販売費及び一般管理費	19,172	20,928
営業利益	1,343	4,071
営業外収益		
受取利息及び配当金	149	171
持分法による投資利益	192	75
為替差益	—	239
その他	570	416
営業外収益合計	912	903
営業外費用		
支払利息	303	283
売上割引	83	90
為替差損	34	—
その他	199	173
営業外費用合計	622	547
経常利益	1,634	4,426
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
災害による損失	86	—
特別損失合計	86	—
税金等調整前四半期純利益	1,547	4,427
法人税等	500	1,371
少数株主損益調整前四半期純利益	1,047	3,056
少数株主利益	125	148
四半期純利益	922	2,907

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,047	3,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150	1,283
繰延ヘッジ損益	△3	△2
為替換算調整勘定	140	1,283
持分法適用会社に対する持分相当額	△196	47
その他の包括利益合計	△210	2,611
四半期包括利益	836	5,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	718	5,493
少数株主に係る四半期包括利益	118	174

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電力機器 事業	溶接メカトロ 事業	半導体関連 機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,555	23,509	6,128	63,193	218	63,412
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	12	7	23	—	23
計	33,558	23,522	6,135	63,217	218	63,435
セグメント利益又は損失(△)	2,519	1,089	△565	3,044	68	3,112

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及びスポーツ施設運営事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,044
「その他」の区分の利益	68
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△1,769
四半期連結損益計算書の営業利益	1,343

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	電力機器 事業	溶接メカトロ 事業	半導体関連 機器事業 (注) 2	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,192	25,861	9,087	75,141	219	75,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	13	—	15	—	15
計	40,194	25,874	9,087	75,156	219	75,376
セグメント利益	2,673	2,844	570	6,088	65	6,153

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及びスポーツ施設運営事業等を含んでおります。

2 第1四半期連結会計期間より、従来、「半導体機器事業」としていた報告セグメントは「半導体関連機器事業」に名称を変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第3四半期連結累計期間につきましても、当第3四半期連結累計期間と同様に「半導体関連機器事業」と記載しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,088
「その他」の区分の利益	65
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△2,082
四半期連結損益計算書の営業利益	4,071

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。